

またまた

集まれ!

九州大学小山研究室主催
凡人社 後援

日本語教育の仲間たち!

3

基調講演

タスク先行型外国語学習

山内博之 氏

(実践女子大学)

2025年9月6日(土)

12:50~17:15 (12:30受付開始)

場所: 福岡県中小企業振興センター

参加費: 無料

定員: 80名

ミニ・ワークショップ/ポスター発表

教授法・教室活動

横溝 紳一郎 氏

(西南学院大学)

教師の成長

河野 俊之 氏

(横浜国立大学)

読解授業 1

黒田 弘美 氏

(甲南大学)

読解授業 2

木下 謙朗 氏

(龍谷大学)

オンライン授業

黒田 亮子 氏

(国際交流基金関西国際センター)

エンゲージメント

石澤 徹 氏

(東京外国語大学)

自律学習

末繁 美和 氏

(岡山大学)

シャドーイング

郭 昱昕 氏

(長崎大学)

第二言語習得

下駄 真奈美 氏

(ユーゼックインターナショナル)

教案づくり

小山 悟 氏

(九州大学)

問合せ: 九州大学留学生センター小山研究室
koyama.satoru.188@m.kyushu-u.ac.jp

オンラインでも配信いたします

ただ、状態としては、テレビ中継を見ている感じになりますので、福岡市内または福岡市近郊にお住まいの方は、対面で参加されることをお勧めします。

プログラム

基調講演（山内博之）

タスク先行型外国語学習の試みー英語・韓国語・チェコ語との格闘ー

2000年に『ロールプレイで学ぶ中級から上級への日本語会話』を出版し、それ以来、タスクの存在が学習者の能力を向上させていくと考えてきました。また、2009年に出版した『プロフィシェンシーから見た日本語教育文法』では、初級段階で身につく形態素とそうでない形態素を区別して示したりもしました。しかし、還暦を過ぎた今、それらのことが本当に正しかったのか、自ら試してみたいと思い、韓国語とチェコ語の学習を開始しました。それ以前から取り組んでいた英語も合わせて、自ら行なっているタスク先行型外国語学習の試みについてお話ししたいと思います。

ミニワークショップ／ポスター発表

教授法・教室活動（横溝紳一郎） タスク先行型ロールプレイの理論と実践

養成課程の日本語教授法の授業で「タスク先行型ロールプレイ」についての講義をする中で、色々な理論とのつながりが見えてきました。当日は、そのつながりの説明と、私自身の実践例（対面式・オンライン形式）の紹介をしたいと思います。

教師の成長（河野俊之） Can-doを自分で考えてみよう

認定日本語教育機関の申請のためにもCan-doが重視されています。しかし、特に初級の場合、教科書のCan-doをそのまま書き写すようなことはないでしょうか。それでは、実際の教育にはあまり役立たないのではないのでしょうか。そこで本ワークショップでは「～てもらう」「～てくれる」を例として、どのようなCan-doが作れるか考えてみます。

読解授業1（黒田弘美） 漢字語彙と意味をうまく結びつける読解授業について

非漢字圏の学習者が、読解文の漢字が読めて、意味がわかるようになるには時間がかかります。学習者が内容を十分に理解できていないのに、授業を先へ進めていることはないでしょうか。今回は、学習者が「読めた!」「わかった!」という喜びを実感できるような読解の授業について、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

読解授業2（木下謙朗） 「本」と「自分」と「社会」をつなぐ読解授業のデザイン

留学生を対象とした読解授業において、「読む」を単なる情報処理ではなく、考えを深めたり他者と共有したりするプロセスとして捉え直しました。内化（自分の理解）と外化（他者への発信）を往還する読解活動のデザインと、その実践例をご紹介します。（副題：内化・外化を通じた読みの変容）

オンライン授業（黒田亮子） 初学者向け地域オンライン日本語教室実施の試み

本発表では、生活者向け日本語学習サイト「つなひろ」を使った地域日本語教室の立ち上げ・実施の実践例を紹介します。「はじめて日本語を学ぶ生活者を対象に、オンラインで教室を実施するには、どのような工夫ができるのか」、またボランティアとともに教室を実施する際の工夫や支援のありかたについても、実践例をもとに一緒に考えたいと思います。

エンゲージメント（石澤 徹） 学習者の主体性をうながす教師の支援を考えよう

学習者が自ら前向きに課題に取り組むために、教師はどのような支援ができるでしょうか。この発表では「学びのエンゲージメント」をふまえた取り組み事例をいくつかご紹介し、教師ができることについて皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

自律学習（末繁美和） メディアを用いた自律学習コースの開発と実践

アニメやドラマ等を用いた独学により、上級レベルに達した学習者を見かけますが、彼らは一体どのようにして上級レベルまで到達したのでしょうか。本発表では、学習者自身が自分に合ったメディア（映像メディア、テキストメディア、歌）や学習ツール、ストラテジーを選択・活用して、自律的に学習を進めていくためのコース設計や教師のサポートについてご紹介します。（副題：言語学習が「苦行」から「楽しみ」に変わる!?!）

シャドーイング（郭 昱昕） 「万能薬」であるシャドーイングはなぜ効果が出ないのか？

シャドーイングは発音・聴解力・発話スキルの向上に効果的とされますが、実際には「十分な効果が感じられない」「学生のモチベーションが続かない」といった声も少なくありません。なぜ多くの研究で検証されている効果が現場では出にくいのでしょうか。シャドーイングを効果的に活用するための「条件」を実践例とともに考えたいと思います。

第二言語習得（下駄真奈美） なぜその初級文型は学習者にとって難しいんだろう

「今教えたのに、学生が何度も発話で間違えてしまう…。私の教え方のせいでは。」とお考えになった先生は、意外と多いのではないのでしょうか。本ワークショップでは、発表者が実際に現場の教師から相談を受けた文型を例として取り挙げ、学習者にとっての困難さを、発話処理という観点から考えてみたいと思います。

教案づくり（小山 悟） 学習の成果を実感させるスパイラルカーブ型の授業デザイン

授業計画を立てる際に重要なのはあれもこれもと欲張らず、できるまで何度も繰り返すことです。もちろん、ただ繰り返すだけでは学習者も飽きてしまいます。そこで推奨したいのが授業をトピックベースに変えることです。本発表ではその具体的な方法として「言語技能を変えて繰り返す」と「話題をシフトまたは拡張して繰り返す」の2つを紹介したいと思います。

スケジュール (予定)

12:30 開場（受付開始）
12:50 ご挨拶
13:00 ミニ・ワークショップ／ポスター発表①
14:10 休憩（質問時間）
14:25 ミニ・ワークショップ／ポスター発表②
15:35 休憩（質問時間）
15:50 主催者からのお知らせ
16:00 基調講演
17:05 ご挨拶
17:15 終了

Zoomでも配信いたしますが、テレビ中継を見ているような感じになります（意見交換ができません）ので、県内・市内在住の方は対面で参加されることをお勧めします。なお、オンライン参加には定員は設けておりません。どなたでも、どこからでもご参加いただけます。

申し込み方法

- 右のサイトからお申し込みください。



会場へのアクセス

1. 会場は**福岡県中小企業振興センター** 4階（401A室）です。
2. 博多からお越しの方は**JRの吉塚駅**で下車されてください。駅から徒歩1分です。
3. バスでお越しの方は**吉塚駅前**または**吉塚2丁目**で、地下鉄でお越しの方は**馬出九大病院前**で下車されてください。
4. 詳細は以下のウェブサイトをご覧ください。
<https://www.joho-fukuoka.or.jp/access.html>



吉塚駅東口より徒歩1分

